

対象国の条件:

研修コース番号:201984810-J002

案件番号:201984810

主分野課題:環境管理/廃棄物管理

副分野課題:

使用言語:西語

案件概要

開発途上国の一般廃棄物の約60%は有機ごみであるため、これらの国で廃棄物管理を行う際は、コンポスト（たい肥化）技術が有効な手段とされている。本研修では、コンポスト事業を推進する際に課題となる品質管理、市民参加促進、流通システム確立などについて、行政、地域の役割も含め、事業運営のための技術・ノウハウを移転することを目的としている。

目標/成果

【案件目標】
研修内容を活かし、各自治体が行うコンポスト事業の改善計画が策定される。

- 【成果】
1. 日本における国・自治体の廃棄物管理について、政策、実施体制の概要を説明できる。
 2. コンポストの概要、技術内容について説明できる。
 3. コンポストの応用性、事業運営について説明できる。
 4. コンポスト事業改善のための計画が策定できる。

対象組織/人材

【対象組織】
地方自治体において、コンポスト事業運営を行っている、またはコンポスト事業を行う予定のある廃棄物担当部門

- 【対象人材】
1. 地方自治体で廃棄物管理(特にコンポスト事業)に従事している者
 2. 当該分野で3年以上の職務経験を有する者

内容

- 【本邦研修】
1. 日本の循環型社会の法体系、一般廃棄物行政概論、北九州市の廃棄物政策・計画
 2. 規模に応じた各種コンポスト技術についての説明・実習、コンポストセンター等導入事例視察
 3. コンポストの応用に関する事例分析、関係者の参加促進・組織化、有機ごみの分別・収集、コンポスト事業の費用対効果分析
 4. アクションプラン作成指導、ディスカッション

本邦研修期間

2019/8～2019/9

担当課題部

地球環境部

所管国内機関

JICA九州

関係省庁

実施年度

2018～2020

主要協力機関

公益財団法人 北九州国際技術協力協会 (KITA)

特記事項
及び
ホームページ